

養成目的・教育目標

柔道整復師科 午前コース・午後コース

【養成目的】

柔道整復師として必要な知識・技術・臨床力を身に付け、変化する社会の中でも医療現場やスポーツの現場で活躍できる柔道整復師を養成する

【教育目標】

- ① 柔道整復師国家試験及び認定実技審査に合格できる知識と技術を習得する
- ② スポーツの分野で活躍できる知識・技術を習得する
- ③ 変化する社会に対応できる思考力・想像力を身に付ける

鍼灸師科 午前コース・午後コース

【養成目的】

健康社会の実現・スポーツ文化の発展に貢献する医療従事者(鍼灸師)としての知識・技術・マインドを持ち、変化する社会に対応できる鍼灸師を養成する

【教育目標】

- ① はり師・きゅう師国家資格取得を目指す
- ② 鍼灸治療だけでなく健康指導ができる知識・技術を身につける
- ③ 社会変化に対応するための思考力・創造力を身につける

理学療法士科 I 部(昼間部)

【養成目的】

ICTを基盤とした先端技術を活用し、変化する社会にも柔軟に対応できるマインドとスキルを身につけ、患者・利用者・スポーツ選手に貢献できる理学療法士を養成する

【教育目標】

- ① 理学療法士国家資格取得を目指す
- ② 学内教育・臨床実習を通し、ニューノーマル時代に対して主体的に対応できる技術と創造性の高い思考を身に付け社会に貢献できる力を身に付ける

理学療法士科 II 部(夜間部)

【養成目的】

健康・スポーツをキーワードとして地域社会に貢献できる理学療法士を養成する

【教育目標】

- ① 理学療法士国家資格取得を目指す
- ② 科学的思考、倫理的判断に基づく専門知識・技術を身につける
- ③ 豊かな人間性、自律性、協調性を身につける
- ④ 自ら発展・成長することができる主体性・積極性を身につける
- ⑤ 変化する社会に対応できる柔軟性・創造性を身につける